

NEXT商店街プロジェクト 平成30年度最終報告

2年目

ふじみ野市の取組

～商店会・大学・地域住民 連携強化の推進～

平成31年3月22日
ふじみ野市産業振興課



対象地域

① 亀居中央商店会

② 大井ショッピング商店会



ビジョン(事業コンセプト)

➤ 学生・地域住民連携型

- ① 大学生・地域住民のアイデアを活用した新たな商店街活性化事業の実施
- ② 大学生による空き店舗活用事業の企画・実施
- ③ 商店会、大学、地域住民による、自走へ向けた協力体制の確立
- ④ 創業希望者と空き店舗のマッチング支援

都市型モデルの推進

キャッシュレス化勉強会実施(H31.3.8)

→次年度以降、キャッシュレス導入を推進予定



主な取組と成果①

取組①

学生・地域住民のアイデアを活用したソフト事業の実施（イベント実施、新聞による情報発信）

成果①

- ① 連携イベント全体検討会
- ② ハロウィンイベント実施
- ③ おかめ新聞発行

1回目：19人参加 2回目：18人参加
 イベント参加人数380人
 2回発行 各1000部



主な取組と成果②

取組②

大学生による空き店舗活用事業の企画・実施
(駄菓子屋事業)

成果②

- ① 町会夏祭りにおいてアンケートを実施（7月）
アンケート回答件数：38件→85%が駄菓子屋出店を歓迎
- ② 先進地視察（8月）
静岡県富士市の「吉商本舗」で駄菓子屋運営のノウハウを習得
- ③ 駄菓子屋出店（10月）
来店者数：218人



主な取組と成果③

取組③

来年度以降の自走に向けた協力体制の確立
(商店会、大学、地域住民の連携チームの立ち上げ)

成果③

- ① イベントや商店街PRを通じた協力体制構築 (6月～12月)
ハロウィンイベントの企画・運営、おかもめ新聞の作成・配布
- ② 文京学院大学との協議 (9月)
地域活性化研究組織「まちラボ」内での連携チーム立ち上げを協議
- ③ 「まちラボ」への参加呼びかけ (11月、12月)
- ④ ワークショップの開催 1回目：27人参加 2回目：20人参加



主な取組と成果④

取組④

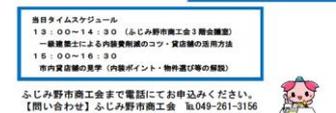
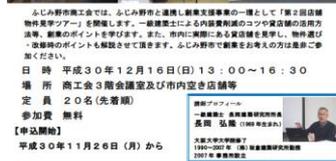
創業希望者と空き店舗のマッチングの実施 (創業支援者セミナー・物件見学ツアー)

成果④

- ①創業セミナー（11月～12月） 開催回数：3回 参加者数：31人
- ②物件見学ツアー（12月） 開催回数：1回 参加者数：6人



創業意欲向上、ツアー開催をきっかけとした貸店舗化、マッチング推進



活動風景



KPIの達成度

① 商店会、大学、地域住民による

連携チームの参加人数 20人【成果:26人】

ワークショップ参加者のうち、まちラボへの参加を希望している人数。

② 新規出店者数 2件【成果:0件】

※1 2019年4月以降オープン1件

※2 来年度、まちラボで1件借り上げ予定

③ 空き店舗の貸店舗化件数 1件【成果:2件】

空き店舗ツアーがきっかけで貸店舗化



2年間の総括

①: 自走に向けた体制整備

- ・ 商店街、地域住民、学生が連携を重ね、商店街や地域の課題解決にむけた協力関係を築くことができた。
- ・ 文京学院大学「まちづくり研究センター」が、NEXTの連携体制を受け継ぎ、地域活性化のエンジンとなることが期待される。

②: 創業希望者の掘り起し

- ・ 創業支援セミナーと空き店舗ツアーを併せて実施することにより、受講者に創業に向けた実践的な知識を習得してもらうことができた。今後の継続実施を検討していきたい。

③: 空き店舗の現状や事業承継希望者の把握

- ・ 不動産所有者や商業者へのヒアリングを重ねることで、貸店舗情報の外部発信や、事業継承希望者の把握につなげることができた。

次年度に向けた課題と対応案

課題①:「まちラボ」の活動体制確立

《具体的な対応案》

- ・ 実施プロジェクトや活動スケジュールの明確化
- ・ 大学内の専門分野（福祉、保健、経営など）の活用
- ・ 地域商店からの参加者拡充

課題②:創業希望者の発掘と多角的支援

《具体的な対応案》

- ・ 市と金融機関の連携により、市と創業希望者の接点を増やす。
- ・ 創業支援関係者（市・商工会・金融機関）の得意分野を活かした、幅広い支援を行う（第二創業や事業承継等を含む）。

課題③:空き店舗情報発信ポータル作成

《具体的な対応案》

宅建協会および関係機関と調整を図り、他にはない情報発信ポータル作成にむけ、引き続き検討を進めていく。